

**三重県保育士・保育の魅力発信事業
保育士向けアンケート
調査報告書**

概要版

令和5年3月

一般財団法人 保健福祉振興財団

(三重県委託事業)

1. 調査概要

(1) 調査目的

保育士や保育の現場の魅力を発信し、保育士確保や就業継続を図るため、指定保育士養成施設の学生及び保育士を対象に行った調査をもとに、課題を整理し、保育の職場環境のための研修や魅力を伝える情報発信を行うことを目的とする。

※なお、学生を対象としたアンケートは別途調査報告書にまとめる。

(2) 実施主体

三重県

(3) 調査実施機関

一般財団法人 保健福祉振興財団（以下「本財団」とする。）

(4) 調査対象

三重県内すべての保育所及び認定こども園に在籍する保育士、幼稚園の教諭等（保有資格、年齢等の制限なし）

(5) 調査期間

令和4年12月2日から令和5年2月28日まで

(6) 調査基準日

令和4年10月1日

(7) 調査方法

三重県・本財団が作成した調査票及び回答入力フォームを、三重県より市町経由にて対象施設へ送付。また、三重県主催の各種研修会において、参加する保育士、幼稚園教諭等に調査への協力依頼を行う。調査対象者は、本財団にFAXするか回答入力フォームに直接入力を行う。

(8) 回答状況

調査対象者数： 10,034 件

回答数： 3,790 件 有効回答数： 3,753 件

回答率： 37.7% 有効回答率： 37.4%

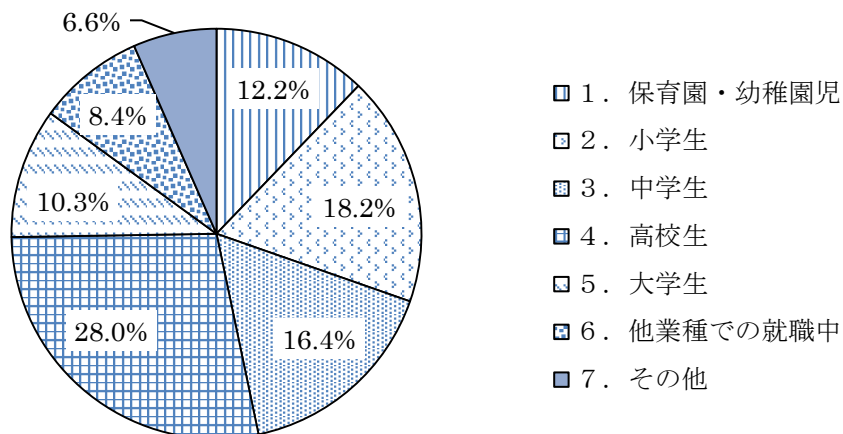
2. 調査結果から見てきた課題等 その1

保育士等を目指した時期

保育士等を目指した時期については、「高校生」が28.0%で最も多く、次いで「小学生」が18.2%、「中学生」が16.4%となっており、全体の62.6%が小学生から高校生の間で保育士等を目指した時期としている。小学生から高校生の学生の早い段階から、保育体験等を通じた指定保育士養成施設入学に向けての働きかけを行っていくことが重要である。

あなたが現在の職業を目指したのはいつごろですか。

回答	人数	割合(%)
1. 保育園・幼稚園児	457	12.2
2. 小学生	682	18.2
3. 中学生	614	16.4
4. 高校生	1,052	28.0
5. 大学生	385	10.3
6. 他業種での就職中	316	8.4
7. その他	247	6.6
合計	3,753	100.0



2. 調査結果から見えてきた課題等 その2

保育所等に就職する際、情報を得た場所

保育所等に就職する際、情報を得た場所については、47.5%が「大学（指定保育士養成施設）」でほぼ半数を占め、19.5%が「お住まい又は就労を希望する施設の所在する市町村」、8.3%が「ハローワーク」と続いている。保育士確保にはこれら関係機関との連携が必要である。

初めて保育所等（幼稚園を含む）に就職する際、どのようなところから得た情報を活用しましたか。（複数回答可）※「割合」は有効回答数（3,753件）に対する割合

回答	人数	割合(%)
1. 保育士・保育所支援センター	135	3.6
2. ハローワーク	312	8.3
3. 民間職業紹介(求人情報誌)	52	1.4
4. 民間職業紹介(求人サイト)	63	1.7
5. お住まい又は就労を希望する施設の所在する市町村	730	19.5
6. 先輩や友人からの紹介	814	21.7
7. 大学(指定保育士養成施設)	1784	47.5
8. 福祉の就職フェア in みえ	40	1.1
9. 三重県私立保育園連盟就職ガイダンス	109	2.9
10. 保育所等への問い合わせ	253	6.7
11. その他	364	9.7

※保育士・保育所支援センターとは、保育士確保や保育士の就業継続支援のための相談業務や研修会、求人求職のマッチングを実施している機関です。（三重県委託事業）

2. 調査結果から見えてきた課題等 その3

現在の職場での経験年数

現在の職場での経験年数については、「6-8年」を境界として大きく減少している。早期離職などが調査結果から推測されるため、就業継続支援や職場復帰支援の取組を充実させる必要がある。

現在の職場での勤務期間を教えてください。

回答	人数	割合(%)
0-2年	1,580	42.1
3-5年	1,069	28.5
6-8年	412	11.0
9-11年	223	5.9
12-14年	132	3.5
15-17年	81	2.2
18-20年	85	2.3
21-23年	40	1.1
24-26年	34	0.9
27-29年	21	0.6
30年以上	67	1.8
未回答・無効	9	0.2
合計	3,753	100.0

2. 調査結果から見えてきた課題等 その4

職場に対して改善してほしいこと

職場に対して改善してほしいことについては、52.6%が「職員数の増員」、52.2%が「給与・賞与等の改善」のほか、41.0%が「事務・雑務の軽減」、31.8%が「休暇（有給取得）」と回答している。職員数の増員及び給与・賞与等の改善などによる処遇改善とともに、余裕のある職場環境づくりの要望も高い。

現在の職場に対して、日ごろあなたが改善してほしいと思っている事柄はありますか。

（複数回答可）※「割合」は有効回答数（3,753件）に対する割合

回答	人数	割合(%)
1. 事務・雑務の軽減	1,537	41.0
2. 勤務シフトの改善	634	16.9
3. 休暇（有給取得）	1,194	31.8
4. 給与・賞与等の改善	1,959	52.2
5. 雇用の安定化（正社員登用）	394	10.5
6. 職員数の増員	1,974	52.6
7. 職員間のコミュニケーション	605	16.1
8. 職務上の権限拡大	98	2.6
9. 業務責任の縮小	625	16.7
10. 評価制度の見直し	268	7.1
11. 園の理念や運営方針	122	3.3
12. 相談体制の充実	386	10.3
13. 研修機会の充実	177	4.7
14. その他	283	7.5

2. 調査結果から見えてきた課題等 その5

職場の ICT 化による労働環境の改善

職場の ICT 化による労働環境の改善については、10.0%が「大いに改善された」、54.4%が「少し改善された」と回答している。一方で、24.9%が「ICT の整備が進んでいない」と回答していることから、ICT の整備率を高めるとともに、ICT の活用を促進していくことが必要である。

職場にパソコンやタブレット端末が導入され、職員や保護者との情報共有など、ICT 化により労働環境は改善されましたか。

回答	人数	割合(%)
1. 大いに改善された	375	10.0
2. 少し改善された	2,040	54.4
3. 負担が大きくなった	405	10.8
4. ICT の整備が進んでいない	933	24.9
合計	3,753	100.0

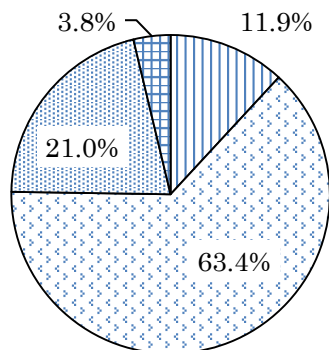
2. 調査結果から見えてきた課題等 その6

職場において相談しやすい環境であるか

職場において相談しやすい環境であるかについては、21.0%が「あまりそう思わない」、3.8%が「まったくそう思わない」と全体の4分の1が回答している。職場内において、相談しやすい環境づくりの促進が必要である。

あなたが勤務している施設は、日頃から悩みや困りごとなどを相談できる職場ですか。

回答	人数	割合(%)
1. とてもそう思う	446	11.9
2. そう思う	2,378	63.4
3. あまりそう思わない	788	21.0
4. まったくそう思わない	141	3.8
合計	3,753	100.0



- 1. とてもそう思う
- 2. そう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. まったくそう思わない

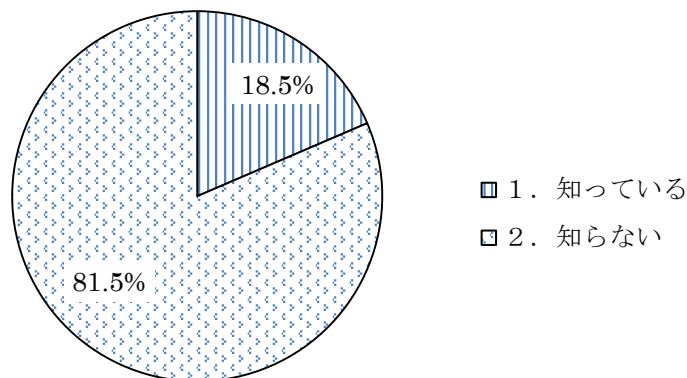
2. 調査結果から見えてきた課題等 その7

三重県保育士・保育所支援センターの認知度

三重県保育士・保育所支援センターの認知度については、81.5%が「知らない」と回答している。三重県保育士・保育所支援センターの存在の周知や取組の紹介を積極的に進めつつ、サービスの充実により、保育士等にとって、有益なものとしていく必要がある。

三重県では、保育士・保育所支援センターを設置し、保育所等で就労を希望される方や今後就労を検討する可能性がある方のための相談や研修を実施しています。三重県保育士・保育所支援センターはご存知ですか。

回答	人数	割合(%)
1. 知っている	696	18.5
2. 知らない	3,057	81.5
合計	3,753	100.0



3. まとめ

今回のアンケート結果から、現役保育士が改善してほしいと思っている事項は、「職員数の増員」「給与・賞与等の改善」「事務・雑務の軽減」であることが、改めて浮き彫りとなった。このため、県としても引き続き、これらの改善に向けて、国や市町とともに対策を検討していく必要がある。

なお、職場のICT化による労働環境の改善については、「大いに改善された」「少し改善された」と回答した割合は、合わせて64.4%となり、労働環境の改善に一定の効果があることが明らかとなった。引き続き、ICTの活用を促進するための支援が必要である。

また、県では「保育士・保育所支援センター」を設置し、保育現場への就業、再就職に向けての不安や悩み、希望する勤務条件などについての相談対応や求人案内、研修会やセミナーの案内、指定保育士養成施設の学生に対しての修学資金や就職支援のための貸付制度の紹介を行っているものの、その存在が十分に周知できていないという課題も明らかになった。今後、「保育士・保育所支援センター」の更なる周知や取組の紹介、サービスの充実により保育士にとって有益なものとしていくための検討が求められる。

一方で、幼児教育・保育の魅力については、「子どもの笑顔が見られる」や「子供の成長を感じられる」など、多くの保育士が日々の業務の中で魅力を感じていることも改めて確認することができたため、保育士が感じている日々の業務の魅力を積極的かつ効果的に発信していく必要がある。

加えて、現役保育士が、日々の業務をより一層充実させることができるよう、開催希望の多かった研修等を充実させることも、現役保育士の就労継続と新たな保育士確保に資することができると思う。

三重県保育士・保育の魅力発信事業

発行日 令和5年3月

発行 一般財団法人保健福祉振興財団（三重県委託事業）

〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀1-6-2 肥後橋ルーセントビル5階

TEL : 06-6940-6117 FAX : 06-6940-6119